はないかと思われる。（この時は他の採集者と合わせ10数頭が得られた）



今まで採集例が少なかったのは中～高地帯で狙っていたためではないだろうか。大川林道の採集地点は標高300～400mのタブ・シイ等を主とした低山帯である。

カミキリ屋ばかりであったため，誰も採集していなかったが他にも非常に多数の *Onthophagus* 類をはじめ糞虫が多く，朝の人糞は夕方にはほぼ分解しつくされてしまうほどであった。ヤクルリセンチばかりでなく糞虫一般にかなり好適な地と思われるので，糞虫に興味のある方で，今後屋久島を訪れる方にはぜひとも立ち寄って，本格的な調査をしていただきたいものである。

末文ながら本種の分類上の位置等について色々御教示下さった石田正明氏に感謝したい。なお，標本は石田正明・長尾悟・小幡幸正の各氏が保管されている。

（〠110　台東区台東2-29-6）

四国のムツコブスジコガネの記録

長尾　悟

Trox mutsuensis NOMURA ムツコブスジコガネは，原産地（青森県恐山）とその後北海道札幌市円山公園の記録が知られるだけで，筆者は先に New Insect Vol. 18, No. 2 に長野県下の採集例を報告したが，その際に四国における記録があると言及した。ここに本種の新分布地として四国を加えたい。

1 ex.，徳島県剣山見の越，31. Ⅶ. 1972，長尾悟採集

灯火に飛来していたものである。

なお，本稿を書くにあたりお世話になった三宅義一先生に深く感謝の意を表する。

（〠162　新宿区南榎町5　南榎町アパート57号）

オオダイセマダラコガネ福井県冠山に産す

佐々治寛之

オオダイセマダラコガネ *Blitopertha ohdaiensis* SAWADA は従来本州紀伊半島山地，四国石鎚山，九州英彦山・祖母山・霧島山に限って分布し，あたかも地史と深い関連をもつかのように思われたが，最近，兵庫県扇の山からも報告され，同定誤りでなければ大変興味深いことと思っていた。ところが，黒川秀吉氏（福井市森田中学校教諭）から同定を依頼された昆虫標本の中に福井県産の本種を見出したので報告する。データは次のとおりである。

福井県冠山，5～6. Ⅷ. 1974，黒川秀吉採集

（佐々治保存）

冠山は福井県今立郡池田町と岐阜県揖斐郡徳山村との県境稜線に位置し，頂上標高1257mで，採集したのは池田町田代から頂上への登山路であるが，途中，多くのセマダラコガネを採ったので，こまかな位置は不確かとの由である。

なお，近縁の普通種であるセマダラコガネは衆知のように色彩や大きさの変異が著しく，中には図鑑に示されたオオダイセマダラとそっくりのものもあり，しばしば誤同定されるが，上記の標本はまぎれもなく本物のオオダイで，九州祖母山の多数の標本と比較しても差は見出せない。最後に発表と標本保管を委ねられた黒川氏の御好意にお礼申し上げる。

（〠910　福井市文京3　福井大学教育学部生物学教室）

ナガヒラタムシ属2種の分布記録

長尾　悟

筆者の手許のナガヒラタムシ属の標本を調べてみたところ，次の2種について報告すべき分布記録があった。

Cupes clathratus SOLSKY ナガヒラタムシ

本種は，Vladivostok（ウラジオストック）原産であり，本邦においては北海道から九州まで分布するようだが，島嶼部における分布記録は少ないようである。筆者は，伊豆諸島御蔵島で本種を採集している。

1♂，東京都御蔵島村里，17. Ⅶ. 1973，筆者採集

C. japonicus TAMANUKI　ヒメナガヒラタムシ

本種については，中根（1973）* が本州（紀伊半島）・四国を分布地としている。原産地は伊予笹山（愛媛）で ATKINS の Mt. Hakkoda（八甲田山？）の記録もあるようだ。筆者の手許には，木村欣二氏よりいただいた伊豆半島の標本がある。貴重な標本を下さった感謝の意もこめてここにデータを公表しておく。

1♂，静岡県伊豆半島猫越，16. Ⅶ. 1967，木村欣二採集（両種とも標本は筆者が保管）

なお，日本のナガヒラタムシ科は他に南西諸島で以前より得られていた *Cupes* sp. と別にもう1種九州で *Cupes* sp. が採れているようなので，今のところ4種類は産するといえよう。

*）中根猛彦，1973：「新シリーズ，日本の甲虫」1，昆虫と自然8（9），2～3

（〠162　新宿区南榎町5　南榎町アパート57号）